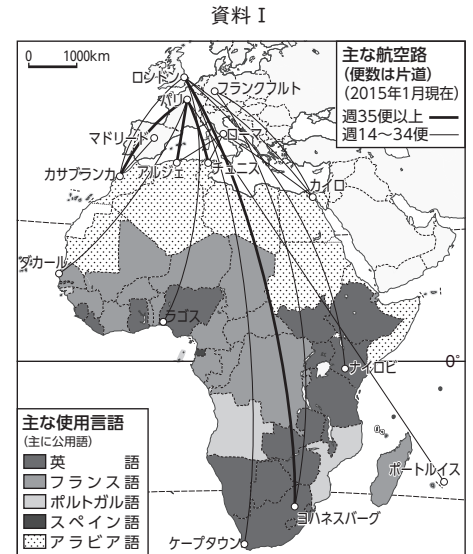


1. 植民地支配の歴史

- (1) 資料Ⅰと地図帳を見て、それぞれの国の主な言語と植民地時代の本国を調べてみよう。

国 名	主な言語	植民地時代の本国
マリ	フランス語	フランス
ナイジェリア	英語	イギリス
アンゴラ	ポルトガル語	ポルトガル



- (2) 資料Ⅰを見て、アフリカとヨーロッパをつなぐ航空路線と便数の特色を挙げ、その理由を考えてみよう。

特 色	理 由
(例) 植民地と本国の関係であった国々の間で便数が多い。	(例) 同じ言語を使っているなど、文化や経済の面でほかの国よりも結び付きが強い。

2. 多様な民族が暮らすアフリカ

- (1) 資料Ⅱを見て、直線で引かれているアフリカの国境線を赤線で2か所なぞってみよう。(略)
- (2) 国境が直線で引かれている理由と、それによる問題点を考えてみよう。

理 由	(例) ヨーロッパ諸国がアフリカを支配していた時代に、民族のまとまりを無視して、緯線や経線に沿って国境線を引いたため。
問 題 点	(例) 国境線が民族の分布と一致していないため、一つの国に複数の民族が集まったり、一つの民族が複数の国に分断されてしまったりしていることで紛争の要因になっている。



- (3) アフリカの国々が政治的・経済的に団結を強めるために作られた国際機関を何といますか。

アフリカ連合

本時のまとめ

◆ 植民地時代の影響は、どのようなところにみられるのか、説明しよう。

(例) かつて植民地であったアフリカの国では、現在でも言語や宗教、航空路でのつながりなどに昔の本国とのつながりが残っている。また、民族のまとまりを無視して引かれた植民地の境界線がそのまま国境となっていて、民族紛争の原因となっている。